

中小企業景気動向調査

(2022年1～3月調査)

きんしん
景況レポート
vol.175
(2022年4月20日発行)

目次

全業種業況概要(業況～設備の状況)	1
業種別業況の推移	3
製造業／卸売業／小売業	4
建設業／サービス業／不動産業	5
特別調査(原材料・仕入価格の上昇による中小企業への影響について) ..	6

●調査方法

この調査は中小企業を対象に
取引先に出向き、
聞きとりしたものです。

●調査時点

2022年3月初旬

●調査対象時期

2022年1月～3月実績及び
2022年4月～6月予想

●調査対象企業の業種別及び有効回答数

	企業数	構成比(%)	有効回答数	回答率(%)
製造業	56	28.0	55	98.2
卸売業	21	10.5	17	81.0
小売業	42	21.0	33	78.6
建設業	32	16.0	27	84.4
サービス業	32	16.0	29	90.6
不動産業	17	8.5	14	82.4
合計	200	100.0	175	87.5

分析方法

D.I (ディフュージョン・インデックス)

A=良い(増加・上昇・過剰)

B=ややA

C=普通(変わらず・適正)

D=ややE

E=悪い(減少・下降・不足)

$$D.I = A \cdot B - D \cdot E$$

この調査の中では傾向を見る方法の一つとしてD.Iを中心として分析したもので、D.IはDiffusion Index(拡張指数)の略です。

企業が景況判断・予想を5段階(A,B,C,D,E)で行います。不変部分(C)を除いて増加(AもしくはB)したとする企業が全体に占める構成比と減少(DもしくはE)したとする企業の構成比のどちらの力が強いかを比べて、時系列的に景気のベクトル(方向線)の傾向を見る方法です。

概況

業況・売上額・収益、ともに悪化

金沢信用金庫が行った中小企業175社の景気動向調査(調査回答先:金沢市中心の業務区域内200社・回答率87.5%)の概況は次のとおりです。

今期の全産業ベースの業況判断DI(「良い」・「やや良い」-「悪い」・「やや悪い」の構成比、以下同じ)は△32.6(前期△12.4)と20.2%悪化した。

業種別では、卸売業が△5.9(前期43.8)と49.7%悪化、ほか小売業が△63.6(前期△34.3)と29.3%、製造業が△29.1(前期

△7.4)と21.7%、サービス業は△44.8(前期△32.3)と12.5%、建設業が△25.9(前期△13.8)と12.1%、不動産業が7.1(前期7.7)と0.6%悪化した。全産業ベースでの来期予想DIは△24.0と8.6%の改善を予想している。

また、全産業ベースの売上額判断DIは△25.7(前期11.2)と36.9%悪化、収益判断DIも△24.6(前期2.2)と26.8%悪化した。来期予想では、売上額判断DIが△6.3と19.4%の改善、収益判断DIは△9.7と14.9%の改善を予想している。

今回の調査で経営上の問題点として最も多かった回答は、「売上の停滞・減少」(全回答中47.4%)で、以下「原材料高」(全回答中34.9%)、「人手不足」(全回答中22.3%)、「同業者間の競争の激化」(全回答中22.3%)であった。また、当面の重点経営施策としては「経費の削減」(全回答中42.3%)との回答が最も多く、以下「販路を広げる」(全回答中40.0%)、「人材を確保する」(全回答中27.4%)という結果となった。

(注)2021年7～9月を前期、10～12月を今期、2022年1～3月を来期という。以下同じ。

景況天気図

(この天気図は、景気指標を総合的に判断して作成しました。)

好調 ← ☀️ ☁️ ☔️ ☂️ → 低調

時 期 業 種 名	2020年(令和2年)			2021年(令和3年)				2022年 (令和4年)	見 通 し
	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	4月～6月
総 合	☔️	☔️	☔️	☔️	☔️	☔️	☁️	☔️	☔️
製 造 業	☔️	☔️	☔️	☔️	☔️	☔️	☁️	☔️	☔️
卸 売 業	☔️	☔️	☔️	☔️	☔️	☔️	☀️	☁️	☁️
小 売 業	☔️	☔️	☔️	☔️	☔️	☔️	☔️	☔️	☔️
建 設 業	☔️	☔️	☔️	☔️	☔️	☔️	☔️	☔️	☔️
サ ー ビ ス 業	☔️	☔️	☔️	☔️	☔️	☔️	☔️	☔️	☔️
不 動 産 業	☔️	☔️	☔️	☔️	☔️	☔️	☁️	☁️	☁️

全業種

	2020年(令和2年)			2021年(令和3年)				2022年 (令和4年)	見 通 し 2022年(令和4年)
	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	4月～6月
業 況	△64.4	△68.4	△49.5	△44.3	△48.4	△36.1	△12.4	△32.6	△24.0
売 上 額	△61.3	△26.8	△ 7.4	△38.8	△18.1	△ 5.5	11.2	△25.7	△ 6.3
受 注 残	△48.2	△36.9	△ 5.9	△29.4	0.0	3.5	18.1	△14.6	△ 2.4
収 益	△60.7	△33.2	△10.1	△36.1	△20.3	△12.6	2.2	△24.6	△ 9.7
販 売 価 格	△16.2	△ 1.6	1.6	△ 3.3	△ 3.3	5.5	13.5	11.4	14.9
原 材 料 価 格	△ 1.6	12.1	11.2	16.9	31.9	40.4	51.7	55.4	52.6
在 庫	15.6	8.1	6.3	6.5	9.2	4.6	△ 5.4	3.4	0.7
資 金 繰 り	△40.3	△16.8	△ 8.0	△10.4	△17.0	△12.0	△12.9	△16.0	△13.1
雇 用 (人手)	12.0	6.8	△11.2	△ 3.8	△ 2.2	△14.8	△25.8	△15.4	△16.6
設 備 状 況	△ 5.7	△ 7.5	△12.2	△11.4	△11.4	△13.0	△17.0	△10.6	△ 9.9

設備投資動向

設備投資は、不動産業を除いた161社の動向です。

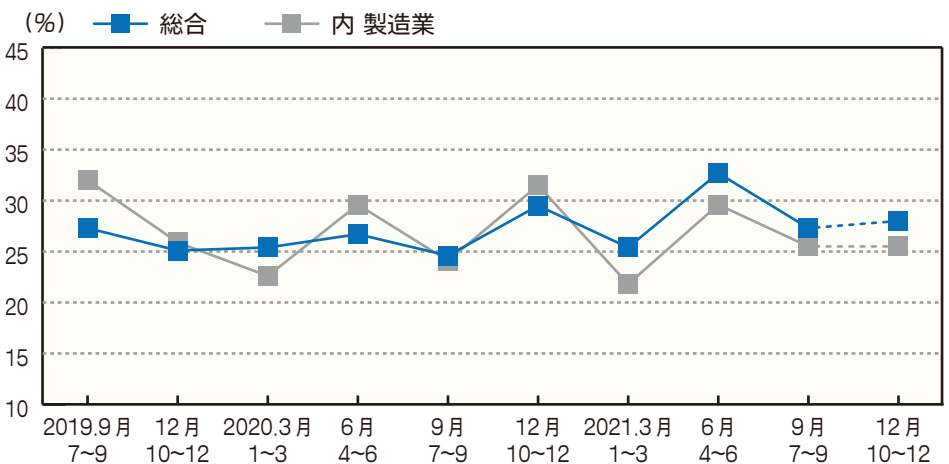
● 1～3月の設備投資実施状況

		有	無
	数	44	117
総 合	%	27.3	72.7
(内 製造業)	数	14	41
	%	25.5	74.5

(来期見通し)

		有	無
	数	45	116
総 合	%	28.0	72.0
(内 製造業)	数	14	41
	%	25.5	74.5

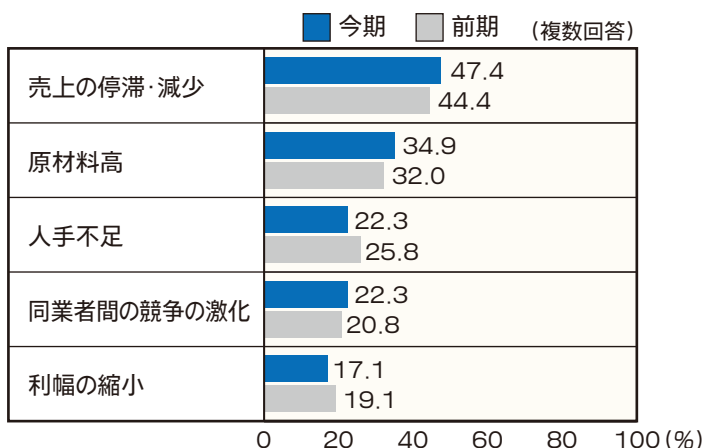
● 設備投資実施(予定)割合



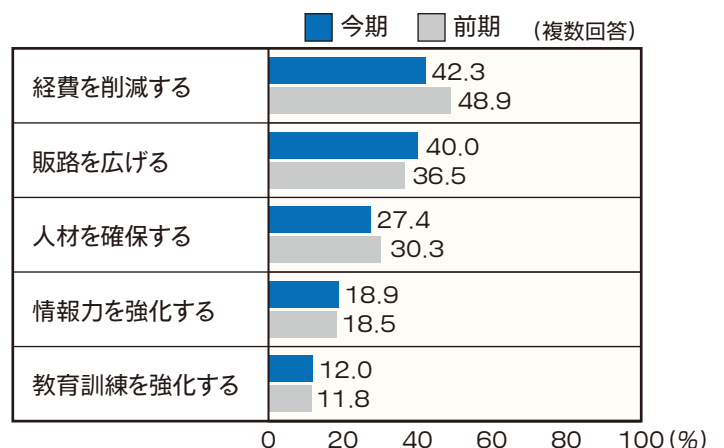
● 1～3月に実施した設備投資の内訳(複数回答)

		事業用 土地・建物	機械・設備の 新增設	機械・設備の 更改	事務機器	車両	その他
	%	3.7	8.1	9.3	6.2	8.1	1.9
総 合							
(内 製造業)	%	1.8	10.9	12.7	9.1	3.6	0.0

経営上の問題点



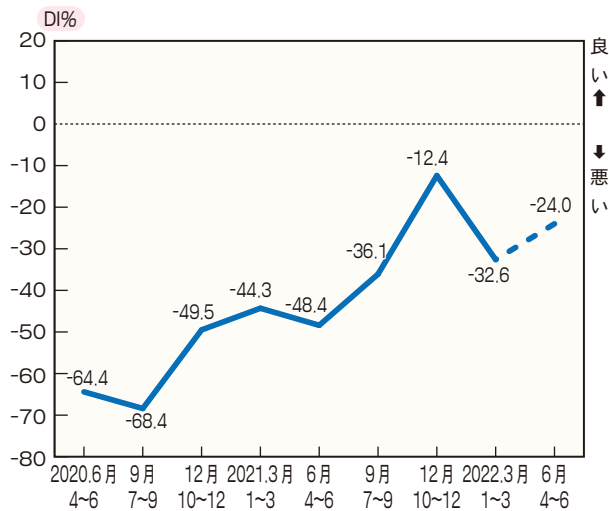
重点経営施策



全業種

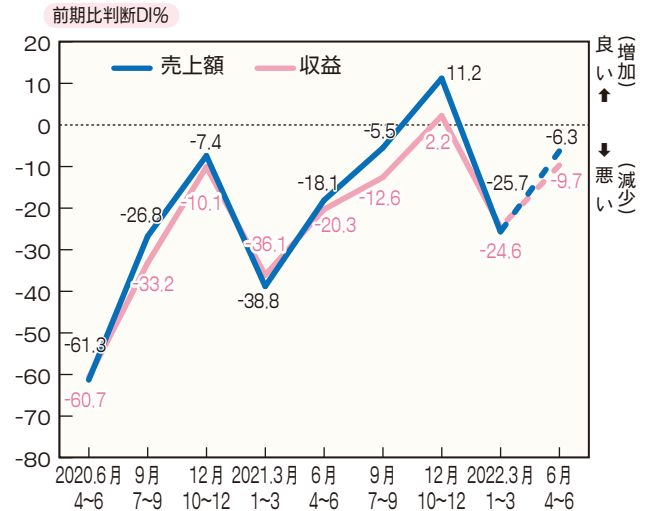
業況

前期から20.2ポイント悪化
来期は8.6ポイントの改善を予想



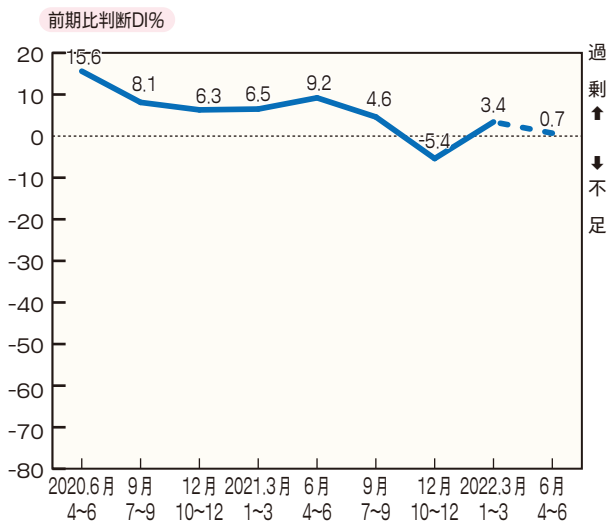
売上額・収益

売上額は36.9ポイント悪化
収益は26.8ポイント悪化



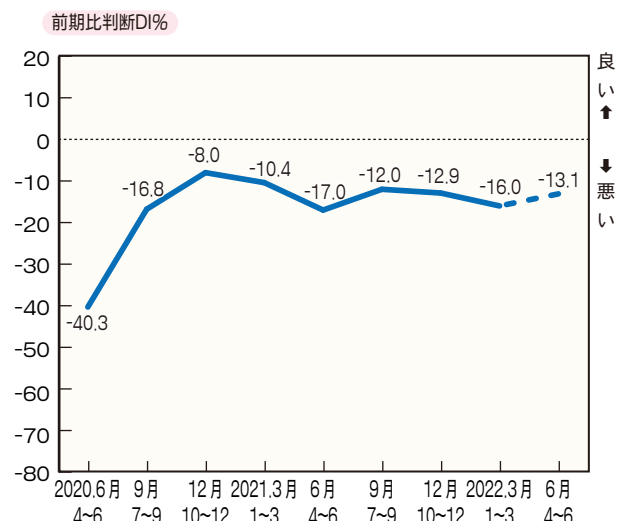
在庫

今期3.4 (前期△5.4)と
不足が解消



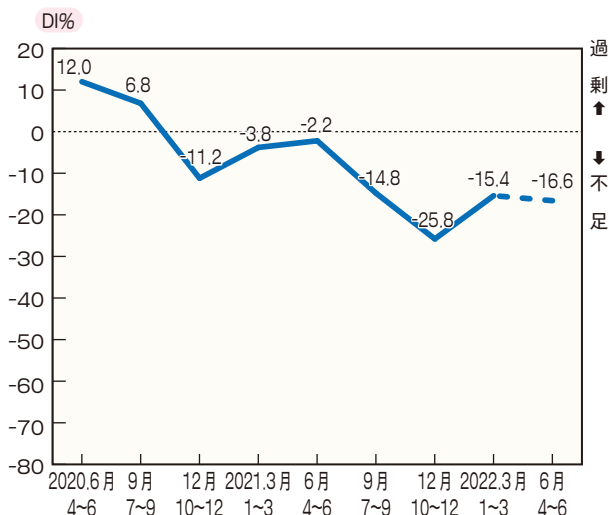
資金繰り

△16.0 (前期△12.9)と
若干悪化



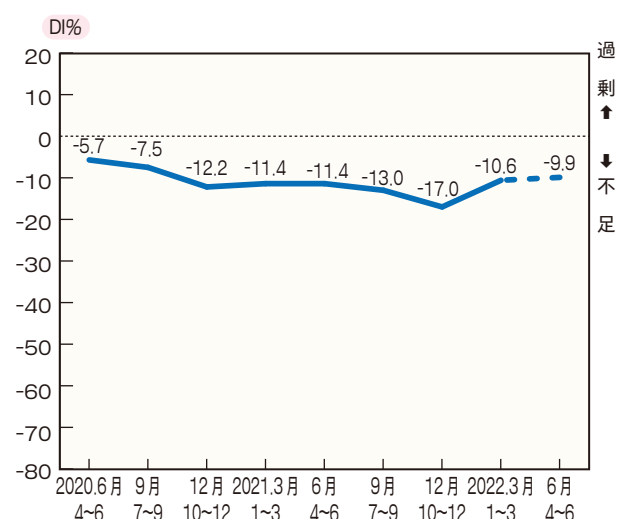
雇用

今期△15.4 (前期△25.8)
と不足感がやや解消



設備の状況

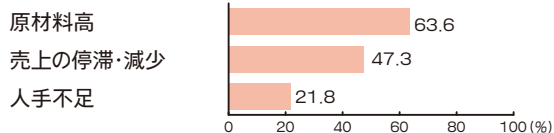
△10.6 (前期△17.0)と
6.4ポイント改善



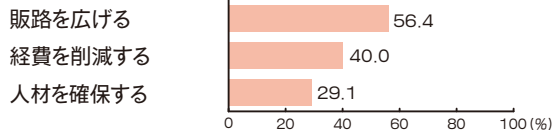
製造業

業況・売上額・収益
ともに悪化

◆ 経営上の問題点



◆ 重点経営施策



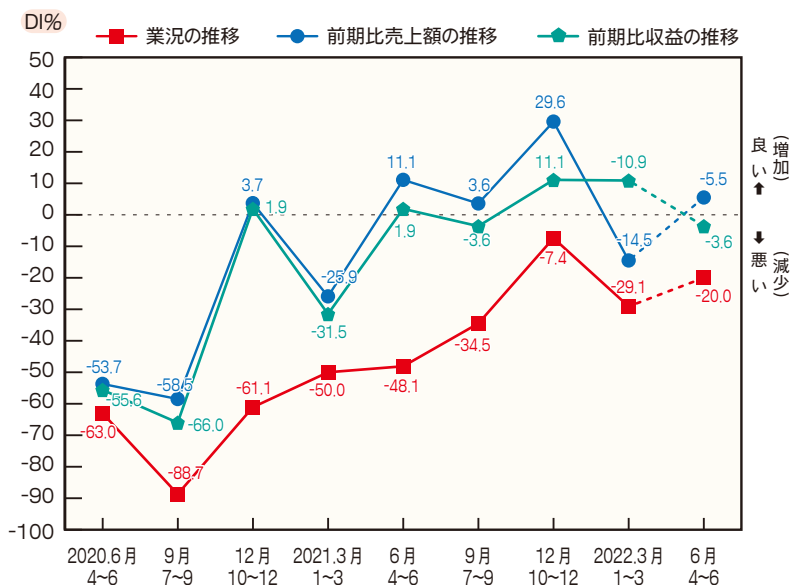
◆ 昨年同時期 (2021年1~3月) に比べた動き

売上額	29.1
収益	16.4

◆ 借入金の動き

借入の実施	21.8%
借入の予定	29.1%

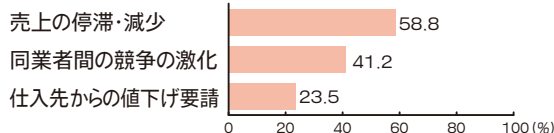
◆ 業況判断D.I・前期比売上額・収益の推移



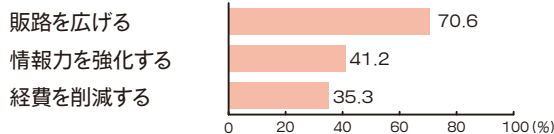
卸売業

業況・売上額・収益
ともに悪化

◆ 経営上の問題点



◆ 重点経営施策



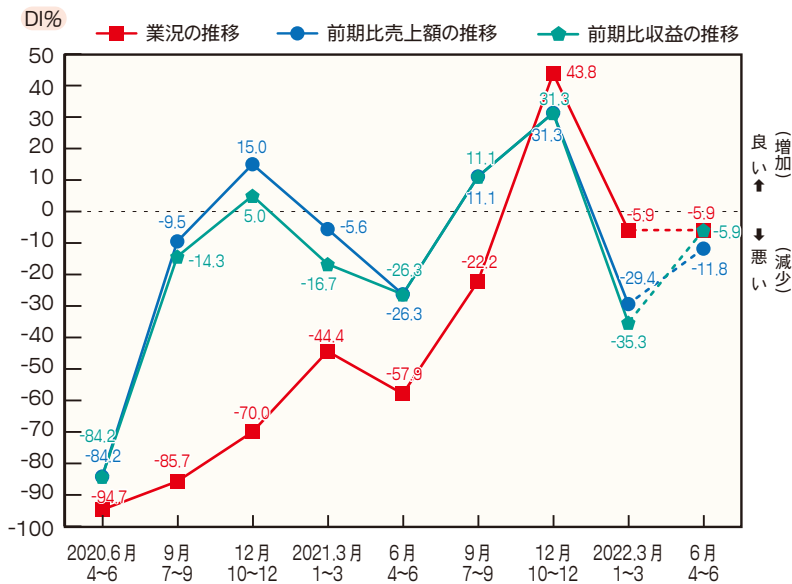
◆ 昨年同時期 (2021年1~3月) に比べた動き

売上額	11.8
収益	0.0
販売価格	58.8

◆ 借入金の動き

借入の実施	23.5%
借入の予定	5.9%

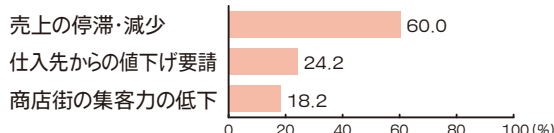
◆ 業況判断D.I・前期比売上額・収益の推移



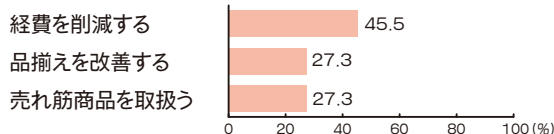
小売業

業況・売上額・収益
ともに悪化

◆ 経営上の問題点



◆ 重点経営施策



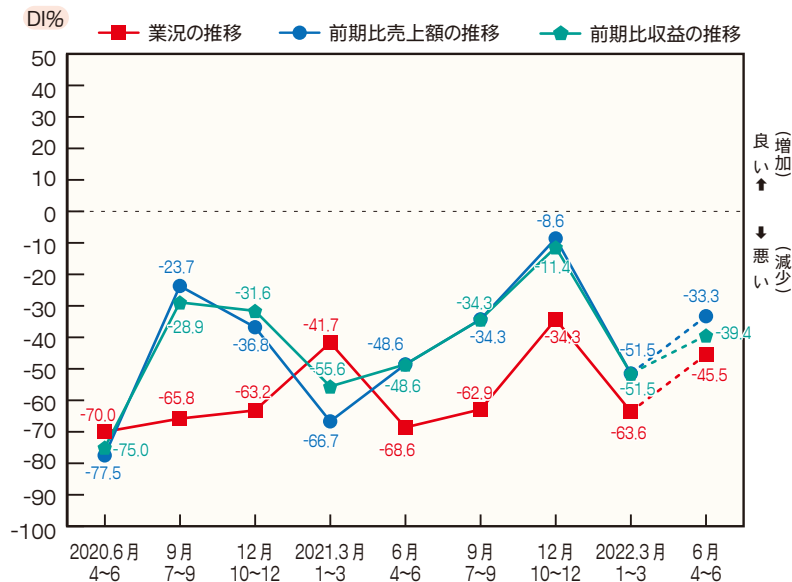
◆ 昨年同時期 (2021年1~3月) に比べた動き

売上額	△39.4
収益	△36.4
販売価格	9.1

◆ 借入金の動き

借入の実施	15.2%
借入の予定	27.3%

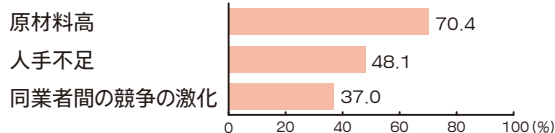
◆ 業況判断D.I・前期比売上額・収益の推移



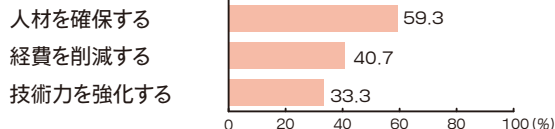
建設業

業況・売上額が悪化

◆ 経営上の問題点



◆ 重点経営施策



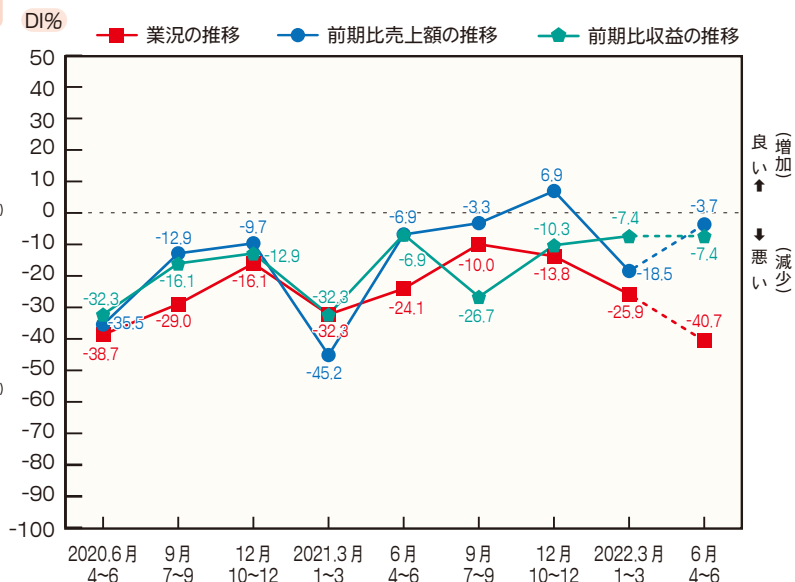
◆ 昨年同時期 (2021年1~3月) に比べた動き

売上額	△25.9
収益	△33.3

◆ 借入金の動き

借入の実施	18.5%
借入の予定	11.1%

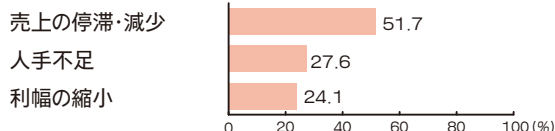
◆ 業況判断D.I.・前期比売上額・収益の推移



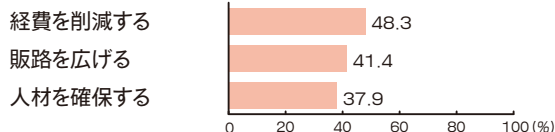
サービス業

業況・売上額・収益ともに悪化

◆ 経営上の問題点



◆ 重点経営施策



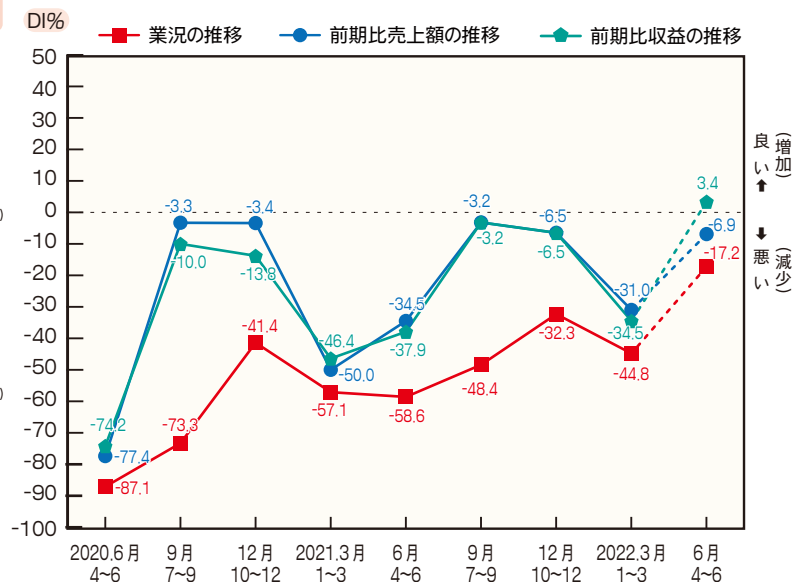
◆ 昨年同時期 (2021年1~3月) に比べた動き

売上額	△27.6
収益	△24.1

◆ 借入金の動き

借入の実施	13.8%
借入の予定	17.2%

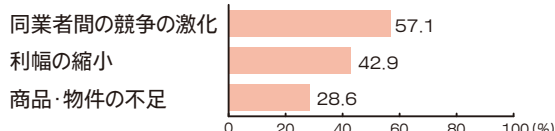
◆ 業況判断D.I.・前期比売上額・収益の推移



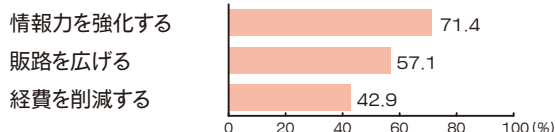
不動産業

業況が若干の悪化 売上額・収益は悪化

◆ 経営上の問題点



◆ 重点経営施策



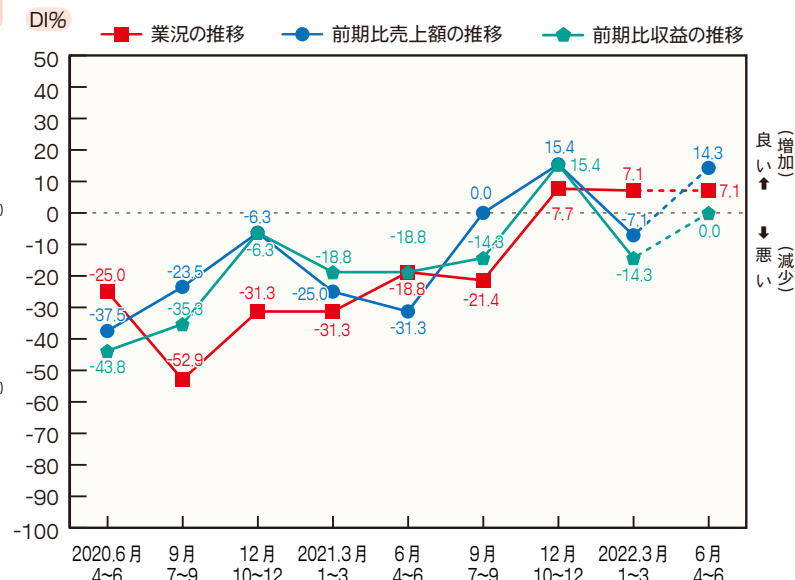
◆ 昨年同時期 (2021年1~3月) に比べた動き

売上額	14.3
収益	0.0

◆ 借入金の動き

借入の実施	21.4%
借入の予定	35.7%

◆ 業況判断D.I.・前期比売上額・収益の推移

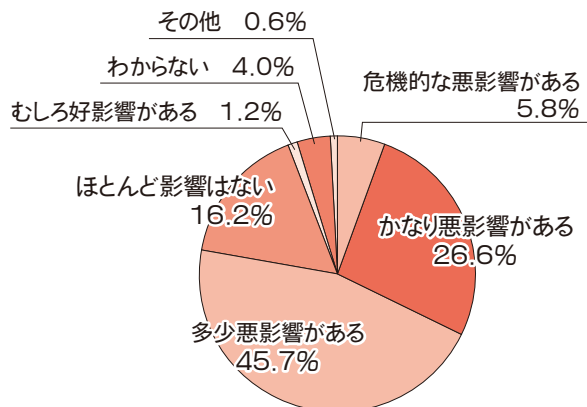




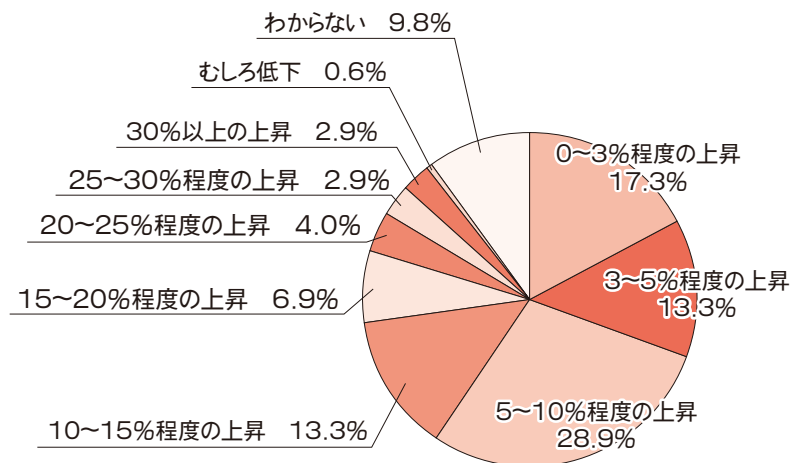
特別調査 原材料・仕入価格の上昇による中小企業への影響について

173社（無回答2社）に調査し回答をいただいたものです。

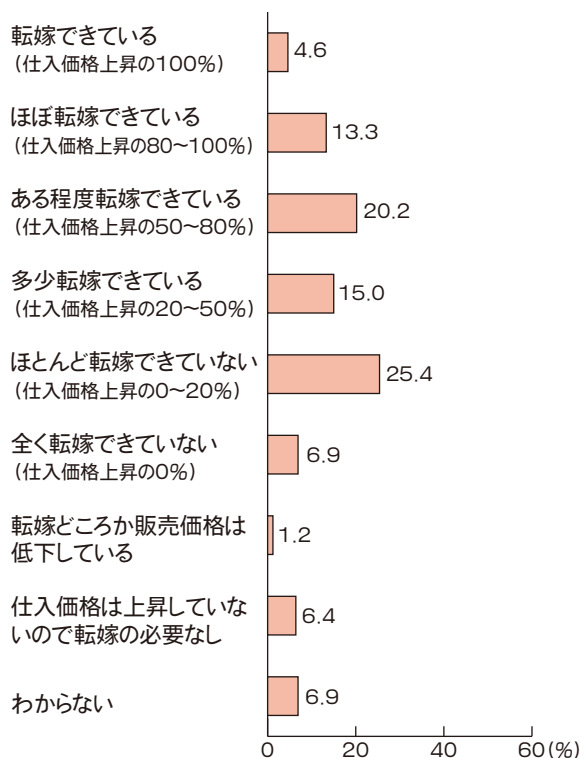
1 最近の原材料・仕入価格の上昇により収益にどのような影響を受けていますか。



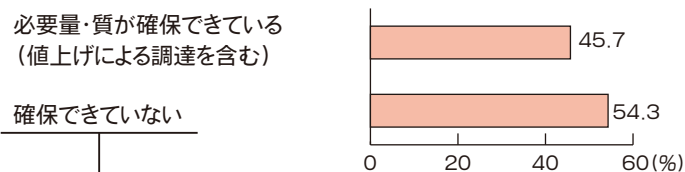
2 原材料・仕入価格は、1年前と比較してどの程度変化しましたか。



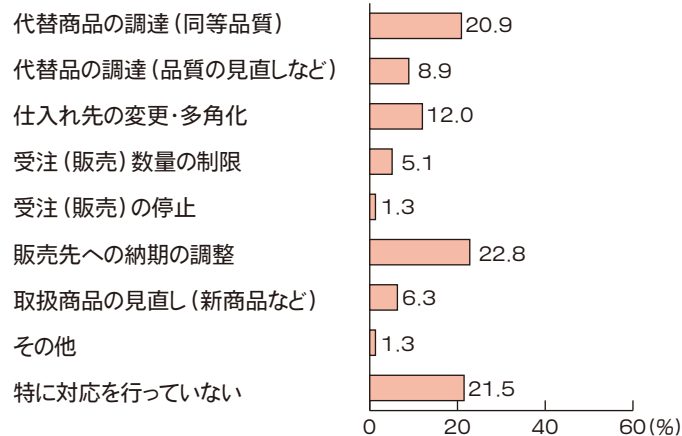
3 原材料・仕入価格の上昇のうち、どの程度を販売価格に転嫁できていますか。



4 原材料・仕入については、価格の上昇のほか、調達遅延、数量確保困難などといった声も聞かれています。各種資材や製商品の量や質は確保できていますか。（複数回答）



現在行っている対策（複数回答）



5 仕入の困難化に伴い、仕入先を見直す動きも出ています。仕入先の見直し等を検討するにあたって、重視する点はありますか。

（複数回答）

